

執拗な叱責、罵声

「高圧的」な振る舞い横行

近畿厚生局管内の保険医協会は8日、近畿厚生局に個別指導に関する11項目の要望書を提出した。要望の背景にある指導現場の「実相」を追った。

厚生局が入るビルの一室で40代の男性歯科医師は唇を噛み、耐えていた。単純な記載漏れです。それなのに、なぜ侮辱されたり、人格まで否定されたりしなければならぬのか。「あたしは臨床家として間違っている」。目の前の指導官から執拗に繰り返される罵声の数々。治療内容や算定理由を説明しようにも、一方的に叱責が続く。「早くこの場を逃れたい」。男性は精神的に追い詰められ、時間が過ぎるのを待つしかなかった。



近畿厚生局がある大阪合同庁舎第4号館

7/25
2019年第1337号
(毎月5、15、25日発行)
大阪府歯科保険医協会
発行人 和田 武
大阪市浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

サマーセミナー 8月25日(日) 午後2時～／M&Dホール

協会は8月25日、「消費税のカラクリ」をテーマにM&Dホールでサマーセミナーを開催する。講師はジャーナリストの斎藤貴男氏。同講演は公開市民講座であり、誰でも無料で参加できる。協会は幅広い参加を求めている。



講師 斎藤貴男氏

ジャーナリスト。日本工業新聞、週刊文春記者などを経て、フリーに。『消費税のカラクリ』など著書多数。

江原豊政策部長の呼びかけ

東京新聞が6月に実施した世論調査では約6割が、10月に実施が予定される10%への消費税増税に反対しています。一方、賛成との回答は約4割。その内訳を見てみると「社会保障に必要」「次



の世代につけを残してはいけない」という理由が並んでいます。消費税率引き上げに賛成している方の多くは、「日本は財政難なのだから、消費税は不可避だ」「社会保障を維持するためなら仕方ない」と考えています。

消費税率引き上げはやむを得ない……。しかし、本当にそうなのでしょうか。社会保障制度を維持・拡充するためと導入される、ことあるごとに引き上げられてきた消費税。しかし、実際は社会保障には用いられず法人税や所得税の減税に充てられ

消費税のカラクリ

「増税不可避」論を乗り越える

選定の基準は「高点数」よりも患者や従業員、保険者からの「情報提供」が多くを占めている。厚生局は「情報提供」を信じるような性格が高い情報として扱い、優先的に選定している。つまり、選定時から「不正請求が行われている」と捉え、「クロ」だと決めつけて指導する素地があるというわけだ。一部の指導官が「不正を暴いてやろう」と「下心」を抱くことは、さもありなんだろう。さらに指導は密室で実施される。第三者の目が届かず、指導官を静止する人はいない。立会人のなかには「少し言い過ぎですよ」と割って入る人もいるが、多くは期待できかないという。指導官の暴走を招きやすい構造が横たわっている。



支台築造におけるポイント解説する坪田氏
＝7日、M&Dホール

支台築造のトラブル回避

坪田氏「リスク因子への配慮を」

臨床学術部は7日、生涯研修講座「歯科接合を活用した支台築造のトラブル回避」支台築造の基本からファイバーポスト・レジンコアまでをM&Dホールで開いた。坪田有史氏(鶴見大学歯学部非常勤講師、東京都文京区開業)が講師を務め、89人が参加した。

坪田氏は、「近年、信頼性の高いメタルフリーの臨床が可能になった」と述べ、その理由として▽歯科接着、特にエナメルボンディングに比較して劣っていたデンティンボンディングの信頼性の向上▽新規歯冠修復補綴材料の開発と進歩―がある」と指摘し、開発の歴史に触れた。

その上で、根管処置歯の支台築造の臨床的ガイドラインや現在市販されているファイバーポストとの特徴を解説した。坪田氏は適応症の選択やファイバーポストの物性、象牙質とコンポジットレジン・レジンセメントとの接着などファイバーポストコアにおけるリスク因子に十分な配慮が必要であると強調した。

第34回保団連医療研フォーラム

10月13日(日)～
14日(月・祝)

グランキューブ大阪 (大阪府立国際会議場)

【13日】記念講演
「医療エンタメとリスクヘッジ」
作家 海堂尊氏
【14日】シンポジウム・分科会・
ポスターセッション

ご予約ください

歯界

「米国は日本を守るが、日本は米国を守らない。これは不公平だ」日米安保条約をめぐる米国大統領の発言だ。もし条約を破棄すれば日本はどの様になるだろうか。

協会直通番号のご案内

保険請求のご相談や年金・休業保障制度のお問い合わせは直通番号をご利用ください。
社保研究部 06-6568-7467
共 済 部 06-6568-7438